

## 施設連 6月定例会

藤井寺市社会福祉施設連絡会の平成30年度定例会が、4月13日（水）午後2時から、藤井寺市立福祉会館（北岡1丁目）で、開催された。



定例会は、7法人9施設から、16名と、府社協社会貢献支援員の下永田氏、藤井寺市生活支援課（自立相談支援担当）松中チーフ、事務局である市社協3名など、計21名で執り行われた。

### 【報告①】バーンル&村協ニュースタ2018について

主催者である事務局（社協）から、イベントが成功裏に終わったことへの謝辞に続き、伊藤



務長（賀光会）からは、施設連のブースで行った内容説明（施設連の活動紹介をパネル及びチラシ配布と子ども向けゲーム）があり「啓発活動は、即効性を期待するものではなく、いざという時に役立つものであればいい」と、継続性の必要を訴えた。

### 【報告②】とっとり委員会について

5月31日に開催した「とっとり委員会」の報告を大谷委員長（高



殿苑）が行い、その後ケースシートに沿って、担当するCSWと社会貢献支援

員の下永田氏から報告（2事例）があった。2事例とも支援を行なう過程においても、この「とっとり委員会」で得た情報が役に立つことが多く、現場職員にとって有意義に働いているとの報告があった。また、ケースの主体を明確にしていくことやケースの傾向を集約していくため、シートの改定を行うことになった。

### 【説明】藤井寺市地域福祉活動計画について

社協の大東職員から、活動計画の基本理念、目標などの説明があり、「顔の見える関係」を土台として地域のつながりを強くしていきたい」と説明があった。

奥田会長（みささぎ会）からは、活動計画の達成するため、施設連絡会は、その実働部隊として行動していくと宣言された。

今後この活動計画の策定が契機となって、地域と社会福祉法人施設の連携強化に拍車がかかることを期待するばかりである。

### 【協議】大阪府居住支援体制整備促進事業について

生活のしづらさを抱えている方の支援をこれまで、施設連絡会は積極的に行ってきた。この事業は、高齢者、障がい者、外国人などという理由で居住の確保が困

難にある方の支援を市、社協、不動産屋などネットワークを育み支援していくものであり、これまでの活動を後押しされるものと認識していると奥田施設長（みささぎ会）から説明があった。その後、当事業への参画について審議し、参加施設（者）からの同意を得るに至った。今後は大阪府の決定を待ち実働していくことになる。

### 【意見交換】積極な参画するために

この施設連絡会が発足以降、研修会や、機関紙の発行、事例検討会、社協フェスタへの参画などこの2年間で府内においても先駆的な活動を行ってきた。今後、会員施設がより主体となって活動を展開していくために、「小委員会」などを設立する案が示された。

今後より主体的に活動する意見を募集していくことになった。【締め切りは7月15日】

### ～次回の予定～ “とっとり委員会”

日時：平成30年7月26日（木）  
14時～15時30分  
場所：福祉会館

### “定例会”

日時：平成30年8月8日（水）  
14時～15時30分  
場所：福祉会館

